

基本目標Ⅲ 明日を生み出すエネルギー やる気を活かせるまちをつくろう

- 豊田町工業用地進出企業の早期操業開始を支援するとともに、既存企業の設備投資に向けた支援策を引き続き実施します。
- JAあいち中央と連携し、ジャンボ落花生のブランド化に向けた栽培効果検証や品質の構築、販路開拓などに取り組みます。
- 「シーホース三河」と連携した取組みや、「Sの絆焼き」や「セレクトギフト」の販売を通じて、地域の活性化と若者の成長支援に取り組みます。
- ごみ減量化に向けて、資源分別方法やごみの捨て方の周知、分別アプリ「さんあーる」の多言語化を進めるほか、先進事例を研究します。
- リサイクル率を向上するための方法を調査・研究します。
- 道路・橋梁の保全および修繕、配水管の耐震化や配水設備の更新など、計画的な維持管理に取り組みます。
- 治水対策として河川改修のための用地取得を進めます。
- 碧海公園複合遊具を地域の意見を聴きながら更新するとともに、地域の団体と協力して、公園・緑地・街路樹や水辺の保全に取り組みます。
- 役割分担と相互連携のさらなる強化を図っていくなかで、新たな災害リスク別専用メールの構築や災害リスク別の防災マップの作成を進めます。
- 運転免許証の自主返納促進や「後付け安全運転支援装置」の購入費補助制度を新設し、高齢ドライバーに対する安全運転対策を推進します。



▲高浜高校SBPIによる「Sの絆焼き」販売



▲総合防災訓練の様子



◀ごみ分別アプリ「さんあーる」

基本目標Ⅲを進めるための主な当初予算

- 防災マップ作成業務委託(新規) …………… 1,047万円
- 高齢者後付安全運転支援装置設置費補助金(新規) …… 216万円

基本目標Ⅳ いつも笑顔で健やかに つながり100倍ひろげよう

- いきいき広場に新たにアウトリーチ支援員を配置し、就職氷河期世代の不安定就労者やひきこもりの方などの支援を行います。
- 災害時の要支援者に対する支援方法やその役割について、地域の方に協力いただき、実効性のあるものとしていきます。
- 発災後、福祉避難所の早期開設が図れるよう施設管理者と協議を進めます。
- 地域生活支援拠点の整備を進めるとともに、「農福連携」の取組みを進めることで、障がい者が力を発揮し、サービスの担い手になれるよう支援します。
- 介護職の魅力を発信し、「介護事業所相互交流研修事業」の充実を図り、離職者の減や介護従事者の資質向上に取り組みます。
- たかま健康チャレンジ事業などの利用者拡大を図るとともに、生活習慣病予防教室を小学校で実施します。
- ホコタッチの活用をさらに進めます。
- 「えんjoyネット高浜」の利用促進と広域化を図り、地域のなかで医療と介護が完結する「地域包括ケア」の実現をめざします。
- 衣浦定住自立圏医療ネットワークの活用とともに、市内で唯一の病床を持つ高浜豊田病院のバックアップによる、地域医療の充実をめざします。



▲健康チェックの様子



▲ホコタッチ(歩行計)

基本目標Ⅳを進めるための主な当初予算

- アウトリーチ支援員(新規) …………… 300万円

市民1人あたりの予算

(行政サービスの額)

34万7千円

(前年度比3万円増)

計算方法	一般会計
	令和2年1月1日現在の人口(49,155人)

【内 訳】	
民生費	13万5千円(前年度比3千円増)

教育費 6万7千円(前年度比2万2千円増)

公債費 1万6千円(増減なし)

衛生費 4万円(増減なし)

消防費 1万1千円(増減なし)

総務費 3万5千円(前年度比1千円増)

商工費 6千円(前年度比1千円増)

土木費 3万円(前年度比1千円増)

その他 農業・議会など 7千円(前年度比2千円増)

市民一人あたりの借金

34万9千円

(前年度比4千円増)

計算方法	(一般会計+特別会計+企業会計)の 令和2年4月1日借入残高の合計
	令和2年1月1日現在の人口(49,155人)

詳しくは、予算をわかりやすく解説した『当初予算の概要』の冊子を参照してください。市役所、公民館や市公式ホームページで入手できます。